

浜松観光ボランティアガイドの会

## 平成30年度 定期総会開催

平成30年度の定期総会が、4月16日に会員103名の出席のもと開催されました。

開催に先立ち、昨年亡くなられた中ブロックの横田建二さんに対し黙祷が行われました。

総会の最初に、大村眞佐夫会長より「いろいろな花の美しい季節となりました。去年は直虎効果でお城や犀ヶ崖資料館、浜松まつり会館等へは、観光バスで多数の団体のお客様がいらっしゃいました。また浜松駅においても多くのお客様に対応しました。井伊谷方面での直接のガイドはありませんでしたが、この機会にとばかりに中央部でのガイドを充実させ、ひとりでも多くのお客様に喜んでいただけるようにと全員で頑張り、直虎の大きな坂を超えました。会員の皆さんの協力、活動に対してお礼申し上げます。

この浜松観光ボランティアガイドの会は、平成11年11月に82名の会員でスタートしまして、4名が現役で活躍しています。そして今では121名の会員数を誇る県下最大のガイドの会になっております。ボランティアはやってやるのではなく、やらせていただくという謙虚な気持ちで行い、まず自分が楽しみお客様との一期一会につなげていきましょう」との挨拶がありました。



総会風景



来賓の皆様

次に来賓の浜松市産業部観光ブランド振興担当部長の石坂守啓様より直虎協力に対する感謝と「引き続き観光行政にご支援とご協力をお願いします」との挨拶がありました。

続いて他の来賓者6名の方々の紹介がありました。

議事に入り、平成29年度事業として事務局各専門部の活動報告、会計決算報告、また監査報告があり承認されました。役員の変更・補充と、役員紹介の後、平成30年度事業計画案及び会計予算案の説明があり、質

疑の後承認されました。

続いて永年勤続会員の表彰に移り、6名が10年表彰され、また本年度から新たに20年特別表彰が制定され、高橋長生さん(東ブロック)、佐々木敏子さん(東ブロック)、宮下要さん(西ブロック)、久野雅男さん(中ブロック)の4名が表彰されました。

最後に新入会員9名が前に並んで紹介され、総会は無事終了しました。

広報部 中野典子(東ブロック)



20年特別表彰の高橋さん、佐々木さん、宮下さん、久野さん(左から)

## 平成 30 年度総会に当たり「会員の皆さまへ」

浜松観光ボランティアガイドの会 会長 大村真佐夫

平成 29 年度は、直虎ブームもあり忙しい年でした。会員諸氏の努力により立派に乗り切れました。ご苦労様でした。



さて、今年は 9 名の新加入があり、121 名。県下最大のガイドの会の位置は変わりません。当会は、平成 11 年 6 月に準備を始め、研修を行い、11 月に 82 名で発足。当時の先輩会員 4 名が現役として活躍されています。ひとくちに 20 年、頭が下がります。

29 年度は、NHK 大河ドラマ「女城主直虎」に関連した活動が印象に残ります。当会は直虎に関連した中央部の対応によく頑張ったと思います。

浜松城は前年より 3 万 7 千人多い 27 万 8 千人、駅での対応も市の委託を受け要員の増員と時間帯を延長して 6 千件多い 1 万 3 千人に対応。犀ヶ崖資料館も 1 万人。浜松まつり会館も 2 万 6 千人と多くのお客様のおもてなしをさせていただきました。

また、小学校の課外学習や、富士山の日の家康公家臣団屋敷巡りは 150 名の市内外からのお客様を含め大盛況。これらも地域に根差した地道な取り組みの成果だと思います。

私たちの目的に、浜松を PR するという大切な役目があります。今この地域では、官民一体となった 19 年ラグビーワールドカップ・20 年パラリンピックの 23 種目の選手の誘致など、観光文化を中心とした経済振興策が取り組まれています。出来る範囲の参加を考えています。

ボランティアは“やらせていただく気持ち”が大切です。今の 4 つの活動拠点も場の提供があって活動ができるのです。ボランティアは自分が楽しむためにやるものです。その楽しみがお客様に伝わる、これがおもてなしの心に繋がります。そのための努力は常日頃物事に興味を持つ、そして形を作り、お客様に楽しんでいただくことです。無理のない範囲で取り組んでみてください。

会の運営は、基本的には変えません。より多くの人に参加できるように風通しを良くして、更なる「見える化」を図りたいと思います。健康に留意して、「明るく 楽しく やらまいか」で今年度もお客様に楽しんでいただきましょう。

## 新入会員現地研修会 ～家康の散歩道（後半）～

風香り、花は咲き揃って春爛漫の 4 月 23 日、散歩道の後半へ歩き出した。新入会員 9 名が全員参加して、研修部員のリードで奥山線跡から出発進行する。その後ろに先輩会員が 20 名ばかり続いた。

この日は亀山トンネル、日枝神社、鷹野つぎ歌碑、高柳健次郎の“1 の字”の石碑、宗源院、普濟寺、馬冷し池を巡る。散歩道は何度か参加しているが、いつも新たな発見があって興味深い。

新入会員の皆さんは熱心に質問したり、お墓の文字を見つめたり、緩むことがない。新鮮な、熱い気持ちが伝わってくる。後ろに続く



奥山線跡亀山トンネルにて

会員も、研修部員に負けじと説

明に加わったり、情報を提供したりする。政治や社会のニュースも所々挟まれてきて、歩くほどに熱を帯びてくる。

家康の散歩道は見どころが多く、歩く量も多い。前半コースと後半コースを合わせればもう散歩という域を超えているほどで、遠来からの人にとっては近寄りたいたいかもしれない。もう少し分かりやすい道程で、途中にちょっと休むところがあったりの、親しみのあるコースを作れないものかと、この日も、歩きながら考えたことである。



普濟寺にて説明を聞く新入会員

広報部 吉岡良子（南ブロック）

# 浜松まつりに協力参加

浜松観光ボランティアガイドの会は、今年も浜松まつりのイベントとして、浜松まつり会館・芝生広場での記念写真撮影、凧揚げ体験、会館内のボランティアに協力参加し、その3日間をつづりました。

尚、3日間の来客数は記念撮影コーナーが5,711人、凧揚げ体験コーナーが2,294人でした。3日は朝まで雨であったせいなのか来客が少なかった分、昨年より減少しました。

【5月3日】幸いなことに、前線が遠ざかり、曇り空ながら無事祭りは実行されました。

しかし、例年に比べ客足が相当ダウンしていたようです。そのような中、海外からのお客様が健闘しておりました。

アジアからは日本で働く来訪者が多く、日本語はほぼOK。韓国からのチマチョゴリで着飾ったお嬢さん、ベトナムからのお嬢さん方が愛嬌を振り撒く様子等はとてもチャーミングでした。

欧米からは、フランス・パリ郊外からの親子4人連れはわんぱく盛りの男の子達、凧揚げ体験を満喫していました。イタリア・フィレンツェのカップルからは、法被を手に取り、良いテキストスタイルであるとお褒めの言葉を頂戴しました。特に、欧米からのお客様方は凧揚げ会場からの帰路にも再度立ち寄っていただき、法被を着たり、凧揚げをしたりと、体験型のレジャーを心行くまで満喫していました。私はその姿に感服しました。



記念写真撮影コーナーで

広報部 古本俊夫（南ブロック）

【5月4日】朝から快晴で、凧揚げ日和でしたが、時折、凧揚げには強すぎる強風が吹きました。

浜松まつり会館では、ボランティアガイドが6人でガイドを担当し、私は二人で浜松市の御殿屋台の説明、乗車体験の案内、写真撮影を担当しました。

屋台に乗ってみたいというお客様が多く、国内だけでなく、海外の方も乗車されました。国内では、四国、神戸、大阪、栃木などから、海外からは、アメリカ、インド、中国などからおいでになりました。アメリカからの若い二人連れの女性は「ワンダフル」と声を上げていました。また、乗車の記念写真は皆さんがいい記念になると喜んでおられました。

お昼前には、家康くん、直虎ちゃんが応援に駆け付け、来客と一緒に記念写真に収まりました。この乗車体験の順



家康くと直虎ちゃんと一緒にパチリ

番待ちは、朝から続々と続いて切れ目がありませんでした。

広報部 佐原正敏（中ブロック）

【5月5日】凧揚げ体験コーナーで、観光客に法被と軍手の貸し出しを行いました。

日本の家族連れが圧倒的に多かったですが、海外からブラジルやインド、マレーシア、韓国からの大人数のグループも見られました。

皆さんそれぞれ、法被を着ての凧揚げ体験について、「凧の引く力が非常に強いのに驚いた」、「糸を引くのが思いの外疲れた」、「やってみて初めて凧揚げが大変だと分かった」、「良い体験ができた」と感想を話されていました。

凧揚げ体験は15時までの予定でしたが、14時頃強風のため体験コーナーの凧も、他の凧と糸が絡まって切れて遠くに飛んで行ってしまい、止むなく終了を1時間繰り上げました。

浜松まつりの最終日、ちょうど良い陽気でしたが、凧揚げには風が強過ぎました。約1km離れた凧あげ会場の凧の糸が切れて10~20枚飛来するのが確認され、その内の数枚が我々のボランティアをしている所に落下して、観光客に当たりそうになることがありました。こんなことは初めての経験でした。



凧揚げ体験の皆さん

広報部 花尾四郎（北ブロック）

# 新入会員の入会動機

昨年 NHK の大河ドラマで知られた井伊家居館跡近くで生まれ育ちました。実家には母の遺した梓澤要氏のサイン入り著書「女にこそあれ次郎法師」をはじめ、井伊谷歴史会の一員だった父の遺してくれた地域史関連の書物が多くありましたので、「女城主直虎」に興味を持ち、昨年一年間は、井伊谷、龍潭寺、気賀のボランティアガイドを務めました。

父親が生前歴史の話をしてくれた頃、私は仕事と子育てに忙しく、あまり熱心に聞けなかったのですが、年齢を重ねた今、歴史の面白さ、奥深さが多少なりとも分かるようになり、今更ながら亡き父に感謝しています。

ボランティアガイドの一年間はいろいろな出会いがあり、多くを学ぶことができました。訪れたお客様に喜んでいただけたときの嬉しさ、充実感は格別でした。浜松の案内は、更に広く深く学ぶべきことが多いと思いますが、自分なりに楽しく取り組めたらと思い、入会いたしました。

北ブロック 曾布川千佳子

## 4月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所の他に「浜松駅観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

### 《浜松城》

複数回来場のあった団体		
* クラブツーリズム国内旅行センター	14回	1,171名
* 阪急交通社	12回	453名
* クラブツーリズム	7回	191名
* 沖縄ツアーリスト	2回	77名
* 千葉読売	2回	74名
* 大井川鉄道とあぶとライン	2回	66名
* はとバス	2回	54名
* 菊地建設	2回	53名
* 大井川鉄道SL	2回	52名
* 日本旅行	2回	37名
1日 日 横浜読売		37名
4日 水 ルミーナプレスクール		21名
5日 木 みどり保育園		35名
		高丘保育園 24名
		天林寺保育園 24名
10日 火 ホンダOB会歩行会		150名
		鶴観光 21名
		東漸寺/大和観光興業 21名
13日 金 静大教育学部附属浜松中学校		123名
		NTT 退職者の会 107名
		神谷コーポレーション湘南 47名
		国際急行観光 22名
14日 土 日本経営研修 (韓国人の方々)		26名

15日 日 鴨々クラブ	25名
18日 水 新居中学校	34名
21日 土 真陽会	32名
22日 日 東武トップツアーズ	30名
	近畿日本ツーリスト 26名
	平林金属 22名
23日 月 駿河建設	25名
24日 火 袋井南中学校	27名
	掛川市立大浜中学校 25名
26日 木 曳馬中学校	243名
	北浜北小学校 112名
28日 土 太平洋ワールドトラベル	42名
* 上記以外に20名以下の22団体	319名

### 《犀ヶ崖資料館》

6日 本多直樹様	17名
14日 東海道を歩く	30名
26日 北浜北小学校	45名

### 《浜松まつり会館》

14日 土 さわかウォーク	508名
23日 月 とも会	25名
* 日曜対応 (1、8、15、22、29日)	600名

## はままつ案内人会報 194号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町 100-2 (浜松城内)

TEL & FAX 053-456-1303

ホームページ <http://www.hama-svg.jp/>

浜松観光ボランティアガイド

検索

